

米子市中学校部活動改革だより

米子市教育委員会事務局
学校教育課
令和7年11月号 第3号

本市児童生徒の実態

令和7年2月、市内小学5・6年生及び中学1・2年生を対象に、スポーツ・文化活動に関する意識調査を実施しました。これにより、本市児童生徒の実態が明らかになりました。

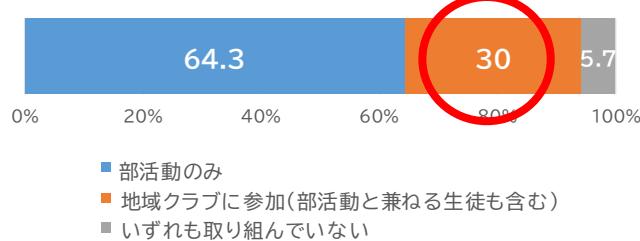
右のQRコードで
本アンケートの全
結果を見ることが
できます。



部活動改革の必要性

【多様なニーズ】

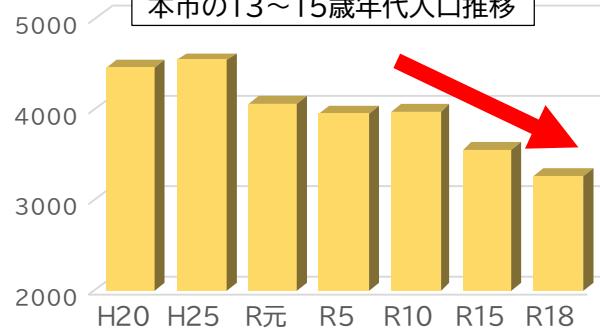
平日の放課後や休日を使って、日常的にスポーツや文化活動を取り組んでいますか



30%の生徒が、地域クラブに参加し、スポーツや文化活動に取り組んでいることがわかります。このうち、6.5%の生徒が地域クラブのみで活動をしています。

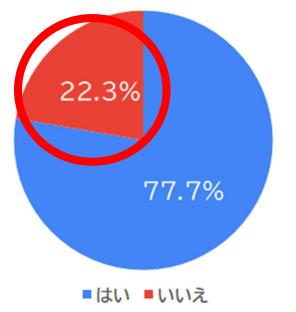
【少子化】

本市の13～15歳年代人口推移



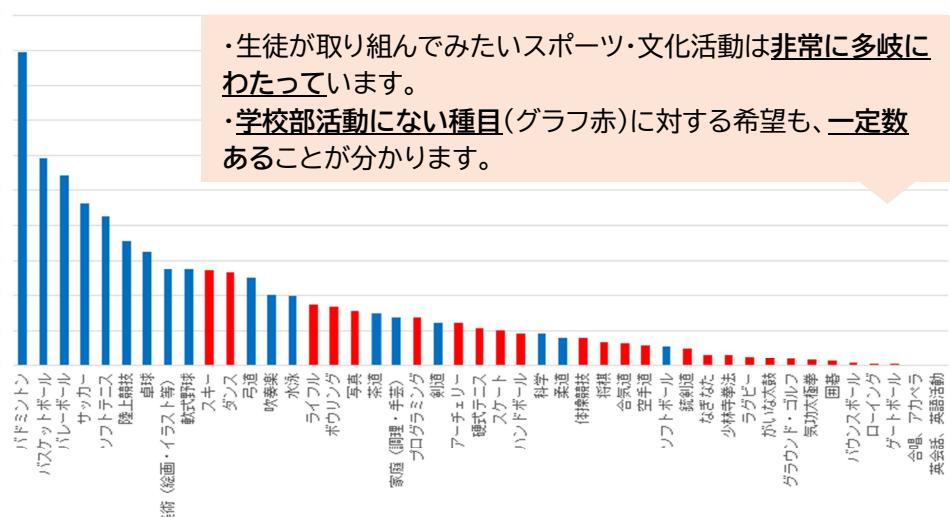
・生徒数が今後10年で2割近く減少する見込み。
・現状のままの学校部活動の維持が難しい。

中学校に入学するとき、やりたい部活動がありましたか



22%の生徒にとって、やりたいと思う部活動が、入学時になかったことが分かります。

【中学校】平日の放課後や休日を使って取り組んでみたい(中学校時代に取り組んでみたかった)スポーツ・文化活動を教えてください(3つまで可)



部活動改革の方向性

以上の結果等から、本市児童生徒のスポーツ・文化活動へのニーズの多様化と学校部活動の課題が明らかになりました。本市としては、子どもたちの活動機会や場の確保とその充実を図るため、学校部活動の地域連携(合同部活動の実施や部活動指導員の増員など)の推進を図ります。また、現在学校部活動にない種目や文化活動なども含めて、子どもの選択肢を広げられるように、受け皿となる地域クラブ活動の体制づくりについても検討していきます。